

平成29年度 泉区難病地域生活支援従事者研修会 人工呼吸器を装着している在宅療養者の災害支援に備える

11月29日に仙台市泉区障害高齢課による難病地域生活支援従事者研修会が仙台市障害者総合支援センターで開催され、人工呼吸器を装着している在宅療養者に関わる72名の方が参加しました。

泉区では、東日本大震災を教訓に、停電による電源消失時に適切な支援が行われるよう、患者様の災害時個別支援計画等の策定を進めていますが、支援者の中には医療機器の取り扱いに不安な方も多いため、より実践的な内容で研修を行いたいという希望から、スキルスラボに研修内容のコンサルティング依頼があり協力を行ったものです。研修会では、震災後の在宅療養に関する研究等も行っている北里大学の千葉先生から震災時の人工呼吸器装着者への対応について講義があり、その後、医療機器メーカーから人工呼吸器の説明がありました。実技では、訪問診療等で活躍されている医療者の方々から、シミュレータを使いながら、電源消失時に必要となる手技を指導いただきました。今回の研修会では、通常の支援活動では確認できない部分を再確認できる実りの多い研修会になったと思います。



『東日本大震災時の人工呼吸装着者への対応』
北里大学医学部 千葉宏毅



『カニューレ挿入・バックバルブマスク』
仙台往診クリニック研究部 遠藤美紀



『災害時の電源確保と人工呼吸器の接続』
仙台往診クリニック 寺嶋公寿



『クリニカル・スキルスラボ紹介』
クリニカル・スキルスラボ 荒田悠太郎



『人工呼吸器の仕組み』
フィリップス 若松剛行・管公也



『災害時の吸引器操作』
仙台北訪問看護ステーション 中島ふみ



『吸引器種類紹介』



『DCインバーターと車の接続法』



『カニューレ挿入』